

5 . 平成 2 9 年度学校評価

視点	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価	総合評価		
		具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等	
1	教育課程・学習指導	<p>(2)自然科学コースが培ってきた行事を、学校全体の取組として位置づけ実施する。</p> <p>(3)ICT利活用授業の研究をプロジェクトチームを中心に推進する。</p> <p>(4)主体的な学びの確立を目指し、授業外での学習習慣の定着を図る。</p>	<p>(2)自然科学コースが募集停止となった1年生にも周知し、参加を促す。校外講座として単位認定することも含め検討する。</p> <p>(3)ICT利活用授業研究プロジェクトを中心に研究を進め、校内での協議会をとおし、組織的にICT利活用を推進していく。</p> <p>(4)学習習慣をつけるべき1学年を中心に、オンライン学習支援システム等を利活用し、生徒個々の学習時間を把握し、習慣の定着を図る。</p>	<p>(2)自然科学コースが1年次に実施していた自然科学教室「富士山実習」に、生徒の参加を促すことができたか。また、実習のための事前学習・実験や事後の振り返りやまとめなど十分な取り組みができたか。単位認定が可能か教科、学年、グループで検討することができたか。</p> <p>(3)組織的にICT利活用を推進し、授業改善につなげることができたか。</p> <p>(4)主体的に学ぶ生徒を増やし、家庭学習など授業外での学習習慣の定着を図ることができたか。</p>	<p>(2)「富士山実習」については、10名が参加し、ほぼ例年通りの成果が上げられた。事前事後の学習や振り返りも行った。</p> <p>(3)新たなクラウドシステムの導入や、生徒が自由に使えるWifiの試行を行うとともに、若手教員を中心とした研修会も充実している。</p> <p>(4)定期試験前の学習時間についてクラウドシステムを利用させ調査している。また、授業評価アンケートの一部をクラウドシステムで行った。</p> <p>様々な場面で生徒が使わざるを得ない状況を作った。</p>	<p>(2)一定数の参加者を募るための手立として単位認定について教科を中心に検討したが、本校では卒業単位数も比較的多くあまりメリットが考えにくい。</p> <p>(3)インフラ面での拡充は進んでおり、BYODのためのWifiの整備も進んだ。授業改善でもこれらのシステムを利用し、本質的な改善点が見えてきた。</p> <p>(4)ICT機器を使うか否かを含め、生徒の主体的な利用を促すための仕掛けをさらに増やし、家庭学習への糸口になるよう更に継続的な利用を図る。</p>	<p>・目標設定が具体的かつ適確でありPDCAがしっかり行われている。</p> <p>・主体的な学びはとても大切であり、そこに視点をあてて取り組み、一定の成果を上げているところは評価できる。</p> <p>・家庭学習への糸口を作る点については、十分に検討されているとは言えない。また、家庭学習時間の調査など定量的な達成目標を背呈することが望ましい。</p> <p>・授業改善についてはより詳細な達成状況を示してほしい。</p>	<p>・ICTを活用しながら主体的に学ぶ姿勢を育てることを継続して取り組んでいきたい。</p> <p>・BYOD導入のためのWifi環境を整え、本格的なBYOD活用に動き出した。次年度以降、これを活用しての授業改善に組織的に取り組み、その成果を検証していく必要がある。</p>	<p>・クラッシーやロイノートなど様々な媒体を活用しより効果の高い指導を研究していく。</p> <p>・家庭学習については各教科どのくらい課しているか、さらにその結果どの程度学習効果が上がったかを把握していく。</p> <p>・今年度は生徒による授業評価の結果を、生徒や保護者に公表することで、本校の取り組み状況を示した。</p>
2	(幼)児・児童・生徒指導・支援	<p>(1)「過ごしやすい学校生活」を送るための社会生活上での規範意識やマナーを生徒に身につけさせる。健康で心豊かな人間性を養い、思いやりのある友人関係の構築を図る。</p> <p>(2)教育相談体制を確立し、報告、連絡、相談が速やかになされるようにする。</p> <p>(3)生徒が自主的・主体的に企画・運営に取り組む学校行事や委員会活動、HR活動を推進する。また部活動等を通して、目標に向けて粘り強く取り組む姿勢や規範意識、社会性を育成する。</p>	<p>(1)学期の初めや終わり、学校行事などの機会をとらえ、生徒のルールやマナーに対する意識を喚起し、生徒が自ら正しく判断し行動できるよう支援を行う。挨拶の励行やいじめ防止教育などを通じ、他人を思いやる気持ちは育て、良好な人間関係の構築を図る。</p> <p>(2)校内における教育相談体制を確立し、連携して生徒の指導、支援に当たる。よりの確な対応ができるようスクールカウンセラーとの連携を強化する。</p> <p>(3)生徒が主体となって企画・運営する学校行事や部活動、HR活動を支援する。また、生徒がやりがいや達成感を感じたり、規範意識や社会性を高めたりすることにつながる指導・支援を行う。</p>	<p>(1)様々な機会をとらえ、生徒が正しい判断、行動ができる支援を行えたか。「自由と規律」の意味合いをしっかりと理解し、行動に移せる生徒を育成できたか。呼びかけを行うことにより生徒の挨拶やいじめ防止に対する意識の向上が見られるようになったか。</p> <p>(2)生徒の問題行動、事故などに対して学年、グループ等で連携して対応できたか。</p> <p>(3)行事の企画・運営に生徒が積極的に関わることができたか。部活動の加入率を維持できたか。</p>	<p>(1)自転車運転免許証を発行して交通ルールを守るように指導した。メールやライン、ツイッター等での誹謗中傷やいじめにつながる書き込みについて2回研修会して理解を深めさせた。</p> <p>(2)スクールカウンセラー来校を生徒・教員に周知し、教育相談に当たった。</p> <p>(3)体育祭、球技大会において委員の生徒、生徒代表者による企画・運営を支援した。部活動の勧誘活動は生徒会執行部が工夫を凝らし、活動できていた。</p>	<p>(1)通学時の自転車事故を未然に防ぐため、交通ルールの筆記試験をして安全運転・交通ルールを順守させる。</p> <p>(2)SNSは、大人の目に触れにくく、問題行動を発見しにくい。情報モラル教育をすすめるとともに、保護者においても理解を求める必要がある。</p> <p>(3)体育祭においては企画・運営にかかわった生徒は達成感のある行事であった。球技大会については工夫が必要である。勧誘活動を工夫して行っていたが、加入率は下がってしまったため、部活動に関するPR方法の工夫が求められる。</p>	<p>・自転車免許証はとて良い取組である。生田だけではなく全県に発信しては。</p> <p>・SNSの問題など新しい課題にも対応している。</p> <p>・部活動の加入率が下がった理由は耐震工事が影響しているのか？</p> <p>・生徒指導上の課題はSCなども含めた専門家とも連携し小さな芽のうちに対応するよう心がけていただきたい。</p>	<p>・自転車運転免許証の発行が生徒の交通事故防止と交通マナーの向上につながった。</p> <p>・ツイッター、SNSなどへの誹謗中傷の書き込みや、他人の写真や動画を無断でアップすることなどがあった。生徒のSNS利用に関するマナー教育が大きな課題である。</p> <p>・耐震工事でのハード面でのマイナスが生徒の行動ややる気に響いている。生徒のやりがいや達成感を得られる活動を意識していく。</p>	<p>・今後も交通安全のための指導を継続していく。</p> <p>・他人の誹謗中傷や、写真等をアップすることは、その人の人権を侵すことであると理解させ、SNSの利用について考えさせていく。</p> <p>・耐震工事のなかでも、生徒主体が主体的に行事について考え、やりがいや達成感がえられるよう企画運営に取り組ませる。</p>

3	進路指導・支援	(1・2)自分の興味・関心・適性・学力など、生徒に自己理解を深めさせる取組を充実させる。	(1・2)外部機関のベネッセ、リクルート、社団法人 Fora との連携を図り、進路サポート、進学事典の適性テスト、アクティブラーニングによる学部・学科選択を利用する。自己推薦書を1年次に書かせることにより自己理解を深めさせる。夏期補習・冬期補習を充実させ、塾に頼らない学力向上を目指す。	(1・2)3年生は希望通りの進路決定ができたか。 1、2年生は夏期補習・冬期講習を十分活用できたか。主体的に学習する生活習慣がついたか。進路目標が設定できたか。	(1・2)1年生対象のアクティブラーニングを実施した。大学の講師を招いて2年生対象に学部学科講義を行った。夏期休業を利用して夏期補習を行った。	(1・2)本年度は仮設校舎への引っ越しがあったため、例年に比べよう教室、補習期間に制限が出てしまった。来年度も施設利用の制限が多いことを考慮して、場所・期間の確保を早い時期に提案する必要がある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学との連携を積極的に図り、取組をさらに深めてほしい。</li> <li>・引越等で十分な補習は難しかったようであるが、早い時期から計画し生徒のニーズに応えられるようにしてほしい。</li> <li>・翌年の選択科目を選ぶのがまだ自分の進路を決めかねている夏休み明けなので早めの指導が必要である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度も仮設校舎で校内合宿と並行して補習を実施となる。生徒会とも連携し早い段階から補習計画を策定する必要がある。</li> <li>・高校卒業時の進路だけではなく将来の職業選択から選択科目を考えさせることが課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒のニーズに合わせた補習計画を早い段階から策定していきたい。</li> <li>・将来の自分の社会でのあり方を考えさせるキャリア教育を実践し、高校卒業後の明確な目標設定に結びつけていきたい。</li> </ul>
4	地域等との協働	(1)生徒に部活動の発表や音楽交流、地域清掃などを通し、地域や社会への貢献について、自分たちができることを考えさせ、地域の一員としての自覚を持たせる。 (2)学校づくりの取組や学校行事や学校説明会の予定、生徒の部活動への取り組み等を、生徒・保護者・地域社会に対してわかりやすく情報発信する。	(1)挨拶や清掃活動、音楽交流における地域貢献の意義をHRなどで伝えることで、地域の一員として活動していることを自覚できるようにする。 (2)学校ホームページを積極的に活用し、個人でも学校見学の申込等に利用できるようにするとともに、生徒・保護者・地域のニーズに合った情報を迅速に提供する。	(1)HRや部活動において地域の一員として自覚できるよう指導、支援できたか。 (2)学校ホームページでの情報発信が、必要ときにできたか。学校説明会等の申込みに、学校ホームページが活用されたか。	(1)例年、地域清掃や音楽活動の地域行事に参加している。		<ul style="list-style-type: none"> <li>・通学区域が広い高校において地域との協働意識を高めることは難しい。これからも効果的に取り組んで頂きたい。</li> <li>・地域との音楽交流は今後も継続してほしい。</li> <li>・ホームページを使って学校の様子をどんどん発信してほしい。お知らせ等が少ないと感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年は稗原小学校の環境整備にサッカー部や野球部が参加した。地域との連携を深める良い機会であった。</li> <li>・迅速なホームページの更新に努めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域貢献は単に地元との連携を深めるだけではなく、本校の生徒たちにとっても社会性を育む良い機会である。これからも地域の小中、地元住民との連携できる機会を作っていきたい。</li> <li>・ホームページを担当できる教員以外のスタッフの配置を要望していきたい。</li> </ul>
5	学校管理・学校運営	(2)施設・設備の安全点検を行い、生徒が充実した学校生活を送れるように、安全安心な学校づくりを推進する。	(2)環境問題や環境美化に対する生徒の自主的、日常的な取組の推進をする。また、防災訓練などを通して生徒・教職員の防災意識を向上させる。耐震工事に伴う、仮設校舎への移動などを安全、円滑に実施できるよう計画を立てる。	(2)清掃活動や学校行事等で環境問題や環境美化に対する生徒の自主的、日常的な取組を推進することができたか。耐震工事に伴う、仮設校舎への移動などを安全、円滑に実施することができたか。	(2)普段の学校生活で清掃活動を通して環境問題や環境美化を意識させ生徒を自主的に取組ませることができた。耐震工事に伴う、仮設校舎への移動などを安全、円滑に実施することができた。	(2)2学期より仮設校舎への移動に伴い、一足制を導入、新たな避難経路の確認を行った。生徒が、円滑な学校生活が送れるよう適切に調整、対応することが必要である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設校舎、耐震工事でグラウンドが使用できない現状でも、清掃活動や環境美化に取り組んでいるところは評価できる。</li> <li>・防災は勿論、防犯にも力を入れてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仮設校舎への引越が無事に完了した。</li> <li>・仮設校舎からの避難誘導などの実効性のある計画の策定が課題である。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一足制については耐震工事後のA棟を含める施設全体の配置、利用計画策定の中で検討していきたい。</li> </ul>